

### 高校生ものづくりコンテスト県大会 秋田工勢がともに優勝 木材加工、旋盤作業を実施



木材加工部門で課題に取り組む生徒

高校生ものづくりコンテストさんがそれぞれ優勝した。トの木材加工、旋盤作業部門の県大会が17、18の両日、秋田市保戸野の秋田工業高校で開かれた。木材加工部門は秋田工業建築科3年の佐々木愛さん、旋盤作業部門では秋田工業機械科3年の室井駿輝さんがそれぞれ優勝した。17日に開催した木材加工部門には県内5校の10人が出場し、3時間で5本の角材を加工し組み立てる課題に挑戦。長さや太さが異なる木材に目印となる線を墨付けし、のぎりやのみを巧みに使って切ったり削ったりした。旋盤作業部門は18日に実施し、県内6校の生徒6人が出た。2時間半の制限時間で鉄製の円柱2本を寸法通りに加工する作業の速さと精密さを競った。作品の完成度に加え、作業の安全性も審査した。優勝した室井さんは、7月26、28日に青森県むつ市のむつ工業高校で開かれる東北大会に出場する。

元開催として準優勝の秋田工業建築科2年の武石梁さんは「もつと時間に余裕をもつて作れるよう、東北大会に向けて頑張りたい」、武石さんは「後は、県大会では競技内容になかった現寸図を描く練習に力を入れる」と話した。旋盤作業部門では、生徒たちが真剣な表情で旋盤を扱った。実施している。

(清水美沙、羽生田一海)